

2021年12月16日

株式会社日本政策投資銀行が発行するサステナビリティボンドへの投資について

当行は、このたび、株式会社日本政策投資銀行（以下、「同社」）が発行する「サステナビリティボンド」（以下、「本債券」）に投資したことを下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 主 旨 当行は幅広い事業分野において、環境および社会に配慮した取り組みを実践しており、サステナビリティボンドへの投資を通じて、収益性の確保のみならず、SDGsをはじめとする持続可能な社会の実現にも貢献するものです。
2. 債券概要

債券名	株式会社日本政策投資銀行第126回無担保社債 (社債間限定同順位特約付及び分割制限付少数人私募) (サステナビリティボンド)
年 限	2年(2023年12月15日償還)
発行額	100億円
利 率	3ヶ月日本円TIBORフラット
発行日	2021年12月16日
主 幹 事	三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社 DBJ証券株式会社

本債券によって調達された資金は気候変動への対応、ヘルスケア・社会福祉の発展に資するプロジェクトに充てられる予定です

※サステナビリティボンドは、その調達資金の手取金全額がグリーンプロジェクト（環境改善効果のある事業）およびソーシャルプロジェクト（社会的課題の解決を目的とする活動）に充てられる債券です。同社が今般発行するサステナビリティボンドは、第三者評価としてISS ESGより、国際資本市場協会（ICMA）の「サステナビリティボンド・ガイドライン2021」に適合している旨のセカンドオピニオンを取得しております。

以 上

《本件に関するお問い合わせ》
肥後銀行 市場金融部
担当：山城
電話 096-326-8717

【該当するSDGs】

 <p>3 すべての人に健康と福祉を</p>	<p>3.4 : 2030 年までに、非感染性疾患による若年死亡率を、予防や治療を通じて 3 分の 1 減少させ、精神保健及び福祉を促進する。</p> <p>3.8 : 全ての人々に対する財政リスクからの保護、質の高い基礎的な保健サービスへのアクセス及び安全で効果的かつ質が高く安価な必須医薬品とワクチンへのアクセスを含む、ユニバーサル・ヘルス・カバレッジ (UHC) を達成する。</p>
 <p>7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに</p>	<p>7.1 : 2030 年までに、安価かつ信頼できる現代的エネルギーサービスへの普遍的アクセスを確保する。</p> <p>7.2 : 2030 年までに、世界のエネルギーミックスにおける再生可能エネルギーの割合を大幅に拡大させる。</p> <p>7.3 : 2030 年までに、世界全体のエネルギー効率の改善率を倍増させる。</p>
 <p>9 産業と技術革新の基盤をつくろう</p>	<p>9.1 : 質が高く信頼できる持続可能かつレジリエントな地域・越境インフラなどのインフラを開発し、全ての人々の安価なアクセスに重点を置いた経済発展と人間の福祉を支援する。</p> <p>9.4 : 2030 年までに、資源利用効率の向上とクリーン技術および環境に配慮した技術・産業プロセスの導入拡大を通じたインフラ改良や産業改善により、持続可能性を向上させる。すべての国々は各国の能力に応じた取り組みを行う。</p>
 <p>11 住み続けられるまちづくりを</p>	<p>11.1 : 2030 年までに、全ての人々の、適切、安全かつ安価な住宅および基本的サービスへのアクセスを確保し、スラムを改善する。</p> <p>11.b : 2020 年までに、包含、資源効率、気候変動の緩和と適応、災害に対するレジリエンスを目指す総合的政策および計画を導入・実施した都市および人間居住地の件数を大幅に増加させ、仙台防災枠組 2015-2030 に沿って、あらゆるレベルでの総合的な災害リスク管理の策定と実施を行う。</p>
 <p>13 気候変動に具体的な対策を</p>	<p>13.1 : 全ての国々において、気候変動に起因する危険や自然災害に対するレジリエンスおよび適応力を強化する。</p>